


Volume 1

Club Concierge

2007年秋・特集号

特集 | 平松礼二 日本画家



A dark glass bottle of wine stands on a wooden surface. The background is a bright, out-of-focus garden with green grass and yellow flowers. The bottle's label is dark with white text. The main text on the label reads 'MARIA SHIZUKO' in a large, bold, sans-serif font. Below it, in a smaller font, is 'Truerose' and '2005'. At the very bottom of the label, there is a line of small text: 'Produced & bottled by Azienda Agricola Beldolfo - Salsomaggiore'.

MARIA
SHIZUKO

Truerose
2005

Produced & bottled by Azienda Agricola Beldolfo - Salsomaggiore

ブリケッタ農園

女性醸造家のデビュー作

トスカーナで生まれた

新しいワインの名品

文/友田晶子(ワインコーディネイター)

若さがはとばしるような青紫色、とろみさえ感じる濃縮感。グラスに注いだだけで部屋中に漂う完熟ブルーベリーのような甘酸っぱい香り。口に含めば、ジャムのよう凝縮した果実味とキメの細かいクリーミーなタンニンを感ずる。アフターにはふわっと甘いバナナ風味。意外なドライ感が心地いい。これが、樽二つぶん、つまり、たった600本しか造られない希少ワインの第一印象だ。

造り手は女性。宮川・マリア・志づ子。今、ワイン業界が熱い視線をおくるイタリア、トスカーナ州、ブリケッタ農園のオーナーである宮川秀之氏と亡き奥様マリーザさんの娘であり、社会福祉とワイン造りに情熱を傾ける女性醸造家だ。この2005年ウィンテージは彼女の初リリースとなる。

ブリケッタ農園は、さまざまな農作物を完璧な有機農法で生み出すことで知られている。とくに、気の遠くなるような手間と愛情を注ぎ醸されたワインは、すでにヨーロッパ最高の有機ワインとしても認知されている。

夫妻の精神を受け継ぐマリア・志づ子は、2005年のメルロー種の出来のすばらしさに感動し、そのポテンシャルを生かす最善の醸造方法で、極上の傑作ともいえるMARIA SHIZUKO (マリア・シズコ)を造りあげたのだ。グラスに注がれた「MARIA SHIZUKO」は、時間とともにどんどんとその色彩を変えていく。メルローらしいブ



ブリケッタ農園のマリア・志づ子さん。ここから「MARIA SHIZUKO」は生まれた。右側は父様の宮川秀之氏。コルニア深谷のDOCワイン組合理事長を務めている

ルーンのような香りや、ビターチョコレートやエスプレッソのような香りが次々と湧き立ち、タンニンはエレガントさを増し、やきたてのバゲットのように香ばしい風味が長く長く残る。ああ、滋味豊かな野菜と繊細な赤身肉の炭火焼なんかにはきつとベストマッチだろうなあ、などと美味い予想をさせてくれる。

さてよ……、この味が全世界にたった600本のみ……。これは急がねばならない。



MARIA SHIZUKO 2005 Truerose		
商品番号	内容	税込価格
81350	1本入り	17,000円
81351	3本入り	50,000円

●醸造20年●容量 750ml●アルコール100%●アルコール度数14%未満(実売高)●専売米輸入
●送料900円●5日後お届け●輸入元/ブリケッタ日本酒販売社●10月上旬以降のお届け

友田晶子/1997年「ワインアドバイザー全国選手権大会」で女性最高位3位に入賞。現在、田崎真也ワインセミナーなどの講師、イベント企画プロデューサー、輸入業者やホテル向けのコンサルタント、エッセイストとして活躍中。

ワインジャーナル